

# キャンプファイヤー

闇夜にともる炎は、炎自体のもつ暖かさとともに、人にとって安心感・安堵感を与えてくれます。まさに、「心に暖かさを与えてくれる」と言っても過言ではないでしょう。しかし、激しく燃え上がる炎は、動物たちにとって恐怖です。三瓶の自然の中での活動については、人間と他の動物とのお互いを考える機会と捉え、薪の入れ方を工夫して小さな炎で実施することなどに留意の上、たき火台を使ったローインパクトなキャンプファイヤーを実施してみたいかと思いますが、

**※入所後の打合せが必要となりますので、確認表の事前提出をお願いします。**



## 活動のねらい

- (1)燃えさかる炎との一体感を通して、よりよく生きるための意欲を喚起する。
- (2)交流・交歓を通じて、お互いの友情を深める。
- (3)火の大切さとともに、動物や環境に対する関わりを考える。また、人間と自然界の関わり方を考える一助とする。

一斉実施可能人数	264人 ※トーチ棒は130本。	活動季節・条件	無雪期(4～11月)
所要時間	1～2時間	実施場所	営火場、第2営火場、グラウンド
主な対象	幼児～		
指導について	職員が事前指導(薪の組み方、片付けの方法の説明)をします。 キャンプファイヤーは自主活動を原則としますが、依頼があれば交流の家研修指導員が指導します(有料)。その場合の指導は21時までとし、指導時間は1.5時間程度です。また、研修指導員による指導料については、ガイドブックをご確認ください。 <b>※研修指導員に指導を依頼した場合は、1部～3部まで全て別紙(国立三瓶青少年交流の家キャンプファイヤー詳細要項)の通りに実施していただきます。また、進行は、全て研修指導員が行います。 ※研修指導員に指導を依頼したときは、実施のおおむね1週間前までに指導員との個別の打合せが必要です。</b>		

## 活動の概略

現在、三瓶青少年交流の家では、環境に配慮する観点から、ローインパクトファイヤーを推奨しています。丸太ではなく薪を燃やす、たき火台を使って行います。また、トーチ棒もそ先端の着火剤だけを燃やします。さらに、トーチ棒は一人一人が持たず、各グループに1本などにする事により、より環境にやさしいキャンプファイヤーを実施することができます。  
活動の仕方は1部、2部、3部からなる一般的なキャンプファイヤーはもちろん、皆で火を囲み、日常を振り返ったり、夢を語り合ったりする一時を過ごすのも良いのではないのでしょうか。参加者のつながりがもっと深くなっていくはずですよ。

## 準備物

### 交流の家が貸し出しできる用具・材料

たき火台(移動可能な火床)	まことの火のランプ	新聞紙	ワイヤレスマイク	ワイヤレスアンブ
第1営火場用ワイヤレスマイク(2本)	CDデッキ	懐中電灯	革手袋	トーチ棒(約130本)
ファイヤーセット用灯油2L				
第1営火場用の鍵※放送室内を使用する場合は必要				

### 利用者または団体で準備する用具・材料

軍手     スタンツの小道具     営火長の衣装等

### 交流の家(食堂)で購入できる物

- ・ファイヤーセット(薪10束)
  - ・トーチ用の着火剤(1袋トーチ9本分)
- ※購入物品の金額については、交流の家HPや「利用ガイドブック」をご確認ください。**

## 当日の動き

- ①打合せ     実施場所、事前指導(薪の組み方、片付けの方法の説明)の開始時間や実施に必要な物品の確認をします。研修指導員に指導を依頼した場合は、実施前に指導員との打ち合わせも必要です。
- ②用具の受け取り  
事前指導     食堂で購入する物品があるときは、物品を受けとってから会場準備をします。  
16:00頃から、職員が薪の組み方や点火準備、片付けの方法などを現地でご説明します。
- ③活動(展開)     自主活動が基本ですが、研修指導員に指導を依頼することもできます。  
消防署にキャンプファイヤー実施開始の連絡しますので、点火したら必ず事務室に無線連絡をお願いします。
- ④用具の片づけ     確実な消火をお願いします。消防署にキャンプファイヤー終了の連絡しますので、消火したら必ず事務室に無線連絡をお願いします。また、たき火台に残った炭の撤去および清掃は、翌朝をお願いします。

## 安全対策・環境への留意点

- 最大瞬間風速が10mを越える場合は、キャンプファイヤーを実施することができません。
- 必要以上の炎とならないように薪を組むとともに、火の調整を行い、使用する薪を最小限にとどめるようご協力ください。
- 風による火の粉の拡散に注意し、眼への障害や衣服への着火等に十分注意してください。
- ファイアーロード、火文字、特別な着火をする場合は、周囲の安全・環境に充分配慮してください。
- 第2営火場を使用するときは、安全管理上、トーチの数を最大でも50本までにご確認ください。

## 備考

- 令和8年1月1日から「林野火災注意報・警報」の運用が開始されました。1月から5月までの期間に大田市長が林野火災警報を発令しているときは、法令により「火の使用制限」がかかるためキャンプファイヤーを実施できません(罰則あり)。
- 交流の家で貸し出したトーチ棒は、再利用するので、燃やさないでください。
- トーチやファイヤーロード用品等を持ち込まれたときは、材料を残さず全てお持ち帰りください。
- 研修指導員に指導を依頼した場合は、「国立三瓶青少年交流の家キャンプファイヤー詳細要項」を十分理解しておいてください(スタッフの役割分担、スタンツの内容を決めておくことなど)。
- 参加者全員で大きな輪をつくる場合、営火場では1重円で約100人。第2営火場は1重円で約50人が目安です。